

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 下越森林管理署、会津森林管理署
所在地	新潟県(新発田市、胎内市、阿賀町、関川村) 福島県(耶麻郡 西会津町)
面積	18,343.01 ha
設定年	1991(H3)年 4月
保護林の概要 (設定目的)	飯豊山周辺は、新潟、福島、山形県境の日本海型気候区で、豪雪地帯に山地帯にはブナ・チシマザサ群集が広がり、亜高山帯は主にダケカンバ群落により構成され、野生動物の動物相も豊かであり、生態系を指標するツキノワグマやニホンカモシカなどの哺乳類、イヌワシ、クマタカの生息も多く確認されている。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	(下越森林計画区)2008年、2013年、2018年 (会津森林計画区)2010年、2015年、2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ・ユキツバキ群落、自然低木群落、ミヤマナラ群落、ダケカンバ群落、雪田植物群落の生育地において調査プロットを合計11箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に7つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査、動物調査について、前回調査と比較し、特に変化は確認されなかった。多雪地帯であるため、ブナ、ダケカンバに斜立木、根曲りが多数確認され、一部に裂傷の発生も確認されたが、種構成等に変化は無く、鳥獣害や病虫害の発生も確認されず、本森林生態系保護地域は健全な状態で維持されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。